



令和2年3月6日	
所属	こども政策課
所属長	清水 徹
電話	06-6409-4761

西日本初 2017年ノーベル経済学賞を受賞した行動経済学「ナッジ」理論の 自主研修グループ「ナッジ・ユニット」を設置した尼崎市 初の取組事例報告会「ナッジコンテスト」を開催 2020年3月18日（水）午前10時より

尼崎市は、2017年ノーベル経済学賞を受賞したリチャード・セイラー教授の提唱する行動経済学「ナッジ」理論※1をいち早く実践し展開していくため、西日本で初、全国的にみても横浜市について2番目となる自治体レベルでの自主研修グループ「尼崎版ナッジ・ユニット」※2を設置しております。さらにこの理論を全庁的に活用していくために、その周知及び気運の醸成を目的に、2020年3月18日（水）午前10時より、尼崎市立すこやかプラザにて、「ナッジ」理論に関する講演会とナッジの取組事例を報告し、共有する「ナッジコンテスト」※3を開催しますのでお知らせします。

※1「ナッジ」理論

ナッジ (nudge) とは、直訳すると「ひじで軽く突く」。行動科学、行動経済学を用いて、人々が自発的に、望ましい行動を取るよう誘導すること。代表的な事例としては男性用便器にハエの絵を入れることにより床面の清掃効率を向上させる等。日本の行政においても、環境省から取組が始まり、全国に展開されつつあります。

大きな経費をかけずに事業の効果を高める「ナッジ」理論は、環境省での取組を契機に国での検討が始まっており、自治体レベルでも、2019年2月の横浜市を皮切りに、ナッジに取り組むチーム「ナッジユニット」の設置が進んでいます。

- 2015年 環境省ナッジPT「プラチナ」設置（省庁初）
- 2017年4月 日本版ナッジ・ユニットBEST設置
- 2019年2月 横浜市行動デザインチームYBiT設置（自治体初）
- 2019年10月 尼崎版ナッジ・ユニット設置（自治体で2番目）
- 2019年11月 岡山県版ナッジ・ユニット設置（都道府県初）

ナッジ事例①：JR尼崎サービスセンター

（損失回避：自動交付機が窓口より100円安いと強調し誘導）



ナッジ事例②：感染症対策担当の市報記事

（社会規範：法律上の義務や感染を広めるリスクを強調）

ナッジを活用した市報記事

（使用前）

◆65歳を過ぎたら結核健診 1018435 65歳以上の人は年に1回結核健診を受けることが感染症法により義務付けられています。本市では高齢者が結核患者の約75%を占めています。年齢が上がると発症する危険性が高くなり、発見が遅れると、家族や周囲の人に感染が広がる恐れがありますので自覚症状がなくても健診を受診しましょう。健診は肺がん(胸部)検診を受けることができます。

（使用后）

◆65歳以上は結核健診が法律で義務付けられています 1018435 本市では結核患者の約75%が高齢者です。また、60歳代の7人に1人は結核に感染しているといわれており、年齢が上がると発症しやすくなります。結核の発見が遅れると、家族や周囲の人に感染する恐れがあります。自覚症状がなくても年に1回健診を受けましょう。健診は肺がん(胸部)検診を受けることができます。

※2 尼崎版ナッジ・ユニット

2019年10月18日結成

市の「自主研修グループ」としてメンバー9人で立ち上げ。各自が業務に関連する「ナッジ」理論の実践に自主的な活動として取り組んでいる。アドバイザーとして、大竹文雄教授（大阪大学大学院経済学研究科／尼崎市学びと育ち研究所・所長）が加わっており、「ナッジ」理論のアイデアに対する助言を行っています。

<取組例>

①JR尼崎サービスセンター

住民票等の発行を、「お近くのコンビニで」「自動交付機を使うと100円安い!」といった掲示物を設置することで、自動交付機やコンビニ交付へ誘導。窓口の繁忙の緩和、業務の効率化を図っている。

例:「窓口だと100円高い」→「自動交付機等へ誘導」

→「損失回避」という、「人は損をすることを強く避けようとする」という特性を活用。

②感染症対策担当

結核健診の受診率向上のため、毎年市報に掲載する広報記事の表現に「ナッジ」を活用。受診率の向上を図っている。

例:「65歳を過ぎたら結核健診」→「65歳以上は結核健診が法律で義務付けられています」

→「社会規範」と呼ばれる、多数派の意見に同調する、社会のルールを守ろうとする傾向を活用。

③道路維持担当

トラックによるゴミのポイ捨てが多発する地域があり、立て看板を設置しても効果が見られない。新たに「ナッジ」を活用したメッセージを盛り込んだ立て看板を、文言を変えて複数設置し、効果検証を行いながら実践していく予定。

※3 取組事例報告会「ナッジコンテスト」

①名称・概要

- (1) 市政課題研修・学びと育ち研究所講演会「超入門編『初めてのナッジ』」
- (2) 庁内の「ナッジ」事例の報告及びアイデアの提案を行う、「ナッジコンテスト」を開催

②日時・場所

日時 令和2年3月18日(水) 午前10時～正午(開場:9時30分)

場所 尼崎市立すこやかプラザ 多目的ホール(尼崎市七松町1-3-1/JR立花駅南側すぐ)

③内容

(1) 講演

演題:超入門編「初めてのナッジ」

講師:竹林 正樹氏(青森県立保健大学/株式会社キャンサーズキャン顧問)

(2) 取組報告会(ナッジコンテスト)

庁内の「ナッジ」の取組についての事例報告・提案を発表する「ナッジコンテスト」を開催。

④その他

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加を職員に限定し、一般の方の参加はお断りしていますが、ご取材いただくことは可能です。当日直接会場へお越しください。

以上